

交付運用報告書

リアル・アセット債券ファンド

円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

<愛称> リアル・インカム

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2018年4月20日～2019年3月18日

第1期 決算日：2019年3月18日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、リアル・アセット企業の発行する債券等を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第1期末 2019.3.18

	円ヘッジありコース	円ヘッジなしコース
基準価額	10,119円	10,294円
純資産総額	516百万円	526百万円
騰落率※	1.2%	2.9%
期中分配金合計	0円	0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sjnk-am.co.jp/>

にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル

お問い合わせ先：クライアントサービス第二部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

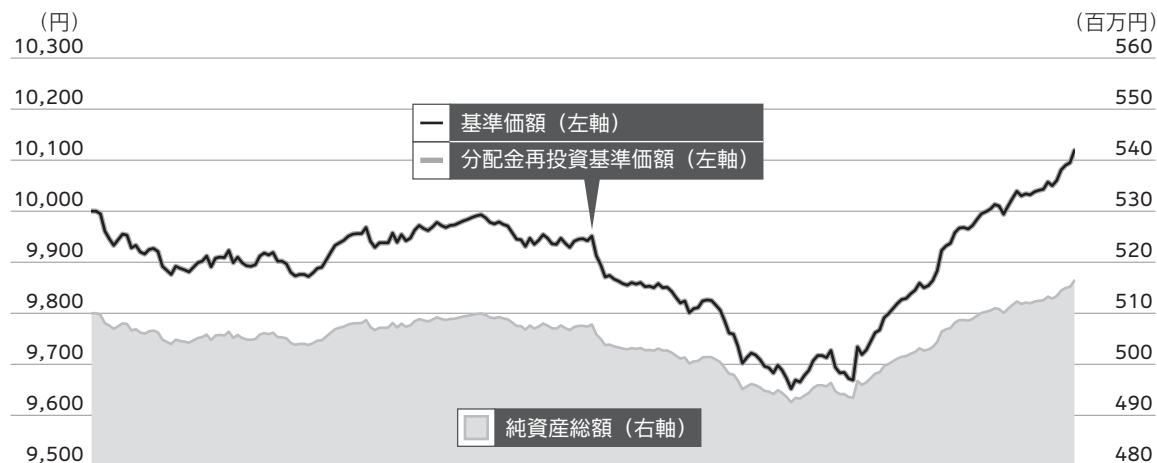


0120-69-5432

運用経過

● 基準価額の推移

☰ 円ヘッジありコース



設定日
2018.4.20

第1期末
2019.3.18

設定日

騰落率

第1期末

基準価額
10,000円

1.2%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

基準価額
10,119円
(期中分配金)
(合計0円)

- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジありコース

当期は、投資しているリアル・アセット債券マザーファンドが上昇したことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。なお、当ファンドは為替ヘッジを行っているため為替変動による影響は限定的でした。

リアル・アセット債券マザーファンド

期中の騰落率は+4.1%となりました。

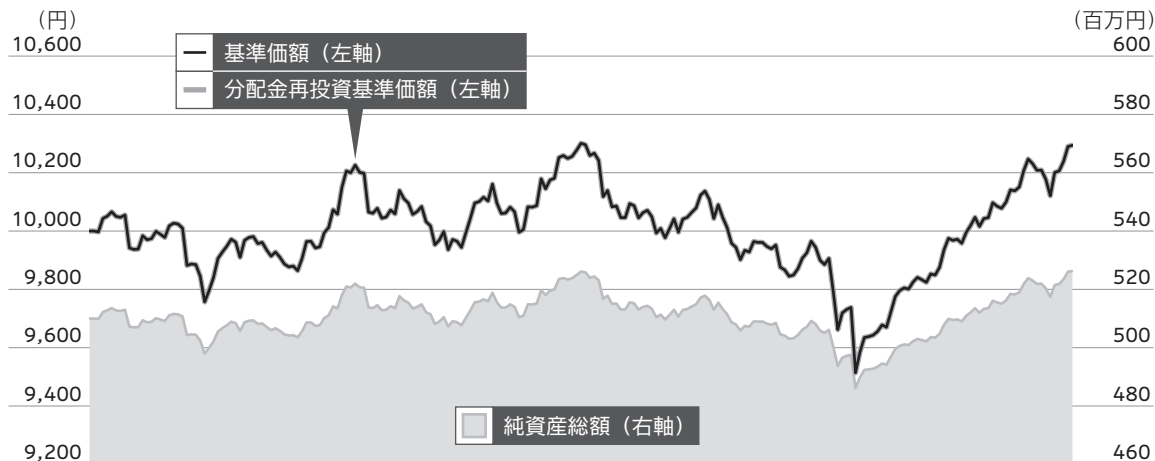
保有するリアル・アセット債券のインカム（利子）要因等がプラスに寄与しました。また、為替において保有通貨である米ドルが円に対して上昇したこともプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

円ヘッジなしコース



設定日
2018.4.20

第1期末
2019.3.18

設定日

騰落率

第1期末

基準価額
10,000円

2.9%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

基準価額
10,294円
(期中分配金)
(合計0円)

- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジなしコース

当期は、投資しているリアル・アセット債券マザーファンドが上昇したことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。

リアル・アセット債券マザーファンド

期中の騰落率は+4.1%となりました。

保有するリアル・アセット債券のインカム（利子）要因等がプラスに寄与しました。また、為替において保有通貨である米ドルが円に対して上昇したこともプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

円ヘッジありコース

期中の1万口当たりの費用の割合は**1.178%**です。

項目	第1期 2018.4.20~2019.3.18		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	110円	1.113%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,880円です。
(投信会社)	(58)	(0.591)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(49)	(0.493)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.030)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.011	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(1)	(0.007)	
(投資信託証券)	(0)	(0.005)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	5	0.054	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(5)	(0.047)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	116	1.178	

注1. 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

円ヘッジなしコース

期中の1万口当たりの費用の割合は**1.178%**です。

項目	第1期 2018.4.20~2019.3.18		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	111円	1.113%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,991円です。
(投信会社)	(59)	(0.591)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(49)	(0.493)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.030)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.011	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(1)	(0.007)	
(投資信託証券)	(0)	(0.005)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	5	0.054	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(5)	(0.047)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.003)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	117	1.178	

注1. 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

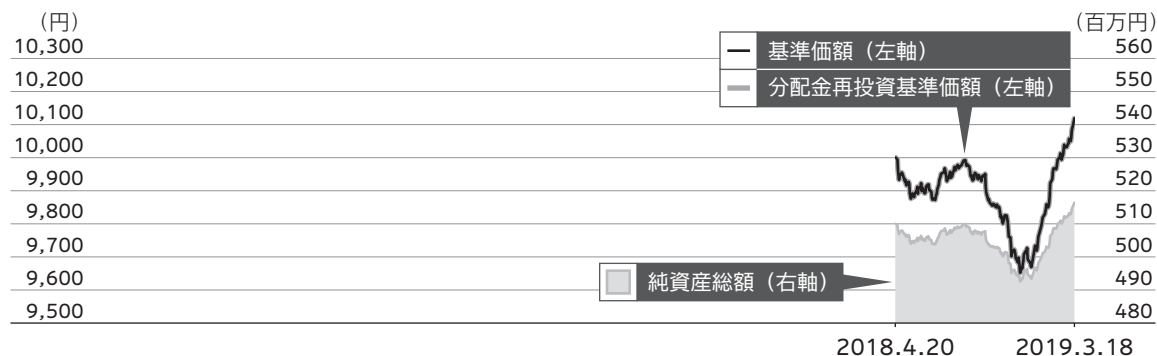
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

● 最近5年間の基準価額等の推移

2014.3.17～2019.3.18

円ヘッジありコース



- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2018.4.20 設定時	2019.3.18 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,119
期中分配金合計 (税引前) (円)	—	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	1.2
純資産総額 (百万円)	510	516

2014.3.17~2019.3.18

 円ヘッジなしコース


- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日		2018.4.20 設定時	2019.3.18 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,294
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0
分配金再投資 基準価額騰落率	(%)	—	2.9
純資産総額	(百万円)	510	526

最近5年間の基準価額等の推移

● 投資環境

○リアル・アセット債券市場

当期のリアル・アセット債券市場は上昇しました。

期初、米国の堅調な経済指標を背景にインフレ期待が高まった事から、リアル・アセット債券市場は下落して始まりましたが、イタリアの政治情勢を巡る不透明感が高まるなど、強弱入り混じった材料を背景に、期の前半はボックス圏で推移しました。2018年9月から11月にかけてはFRB（米連邦準備理事会）が利上げを決定した事もあり、米国の債券金利が上昇したことからリアル・アセット債券市場は下落しました。12月に入り、米中貿易摩擦懸念の再燃や原油安等を背景に主要株式市場が大幅下落となる中、米欧長期金利が年末にかけて大きく低下したこと、また、年明け以降は、FRBが追加利上げに慎重な姿勢を示したことや、軟調な米欧経済指標の発表等を受け、米欧長期金利が低下基調で推移したことから2018年末から期末にかけてリアル・アセット債券市場は上昇基調での推移が続きました。

○為替市場

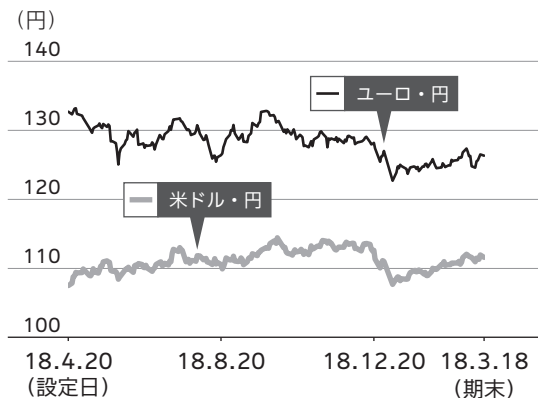
米ドルは円に対して上昇しました。

米中貿易摩擦懸念の再燃や原油安等を背景に主要株式市場が大幅下落する中、2018年末にかけ米ドルは円に対して下落する局面もありましたが、米国の堅調な経済指標などを受け、米ドルは円に対して上昇しました。

ユーロは円に対して下落しました。

堅調な経済指標を背景としたECB（欧州中央銀行）の量的緩和終了の発表があった一方、英国、イタリアの政治的不安などもあり、ユーロは円に対して下落しました。

為替レートの推移



(出所：Bloomberg)

注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

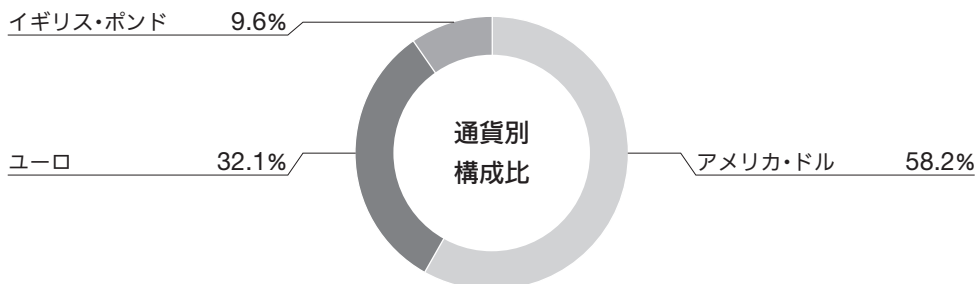
● 当該投資信託のポートフォリオ

📊 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

両コースとも、期を通してリアル・アセット債券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。円ヘッジありコースでは、為替変動リスクを回避する目的から、対円で為替ヘッジを行っています。

🏠 リアル・アセット債券マザーファンド

期を通してリアル・アセット企業の発行する債券等の組入比率を高位に維持しました。



注1. 比率は、第1期末における組入債券評価額に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%と異なる場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

📊 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

各ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保をはかるとともに、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

円ヘッジありコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第1期 2018.4.20~2019.3.18
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	262

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

円ヘッジなしコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第1期 2018.4.20~2019.3.18
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	293

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

円ヘッジありコース

今後の運用におきましても、リアル・アセット債券マザーファンドへの投資を通じて、日本を含む世界のリアル・アセット企業の発行する債券等を主要投資対象とし、信託財産の中期的成長を目指します。為替変動リスクを回避する目的から、対円で為替ヘッジを行います。



円ヘッジなしコース

今後の運用におきましても、リアル・アセット債券マザーファンドへの投資を通じて、日本を含む世界のリアル・アセット企業の発行する債券等を主要投資対象とし、信託財産の中期的成長を目指します。

リアル・アセット債券マザーファンド

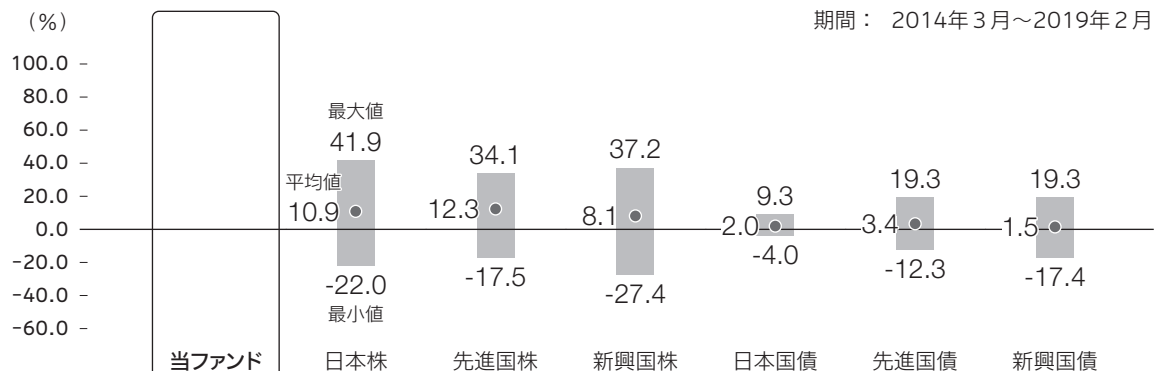
当ファンドは日本を含む世界のリアル・アセット企業の発行する債券等を主要投資対象とし、信託財産の中期的成長を目指します。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2018年4月20日から2023年3月15日まで
運用方針	安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	 リアル・アセット債券ファンド 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース リアル・アセット債券マザーファンド受益証券  リアル・アセット債券マザーファンド 世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業の発行する債券等
運用方法	①主として世界各国（日本を含む）のリアル・アセット企業（長期にわたり、継続して安定したキャッシュフローを生成する資産を、保有している企業）の発行する債券等（期限付劣後債、永久劣後債、優先証券等を含む）に分散投資を行います。 ② マザーファンドにおける、債券等の運用指図に関する権限を、コーヘン&ステイアーズ・キャピタル・マネジメント・インクに委託します。 ③ 「円ヘッジありコース」と「円ヘッジなしコース」があります。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

円ヘッジありコース



① 資料作成時において、当ファンドの運用期間が1年未満のため、当ファンドの年間騰落率を記載しておりません。

* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

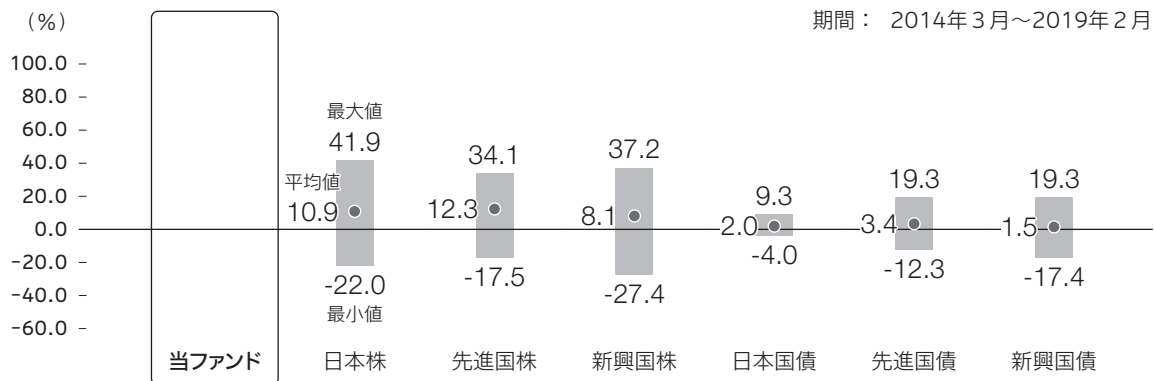
日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は21～22ページをご参照ください。

円ヘッジなしコース



① 資料作成時において、当ファンドの運用期間が1年未満のため、当ファンドの年間騰落率を記載しておりません。

* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は21～22ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

円ヘッジありコース

● 当該投資信託の組入資産の内容

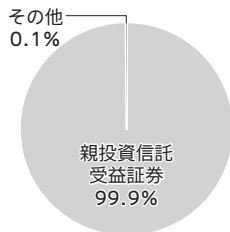
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第1期末 2019.3.18
リアル・アセット債券マザーファンド	99.9%

注. 比率は第1期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第1期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第1期末 2019.3.18
純資産総額	516,399,417円
受益権総口数	510,332,435口
1万口当たり基準価額	10,119円

※ 当期中における追加設定元本額は355,431円、同解約元本額は22,996円です。

● 当該投資信託の組入資産の内容

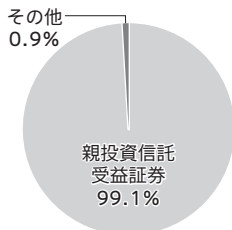
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第1期末 2019.3.18
リアル・アセット債券マザーファンド	99.1%

注. 比率は第1期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第1期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第1期末 2019.3.18
純資産総額	526,265,538円
受益権総口数	511,248,749口
1万口当たり基準価額	10,294円

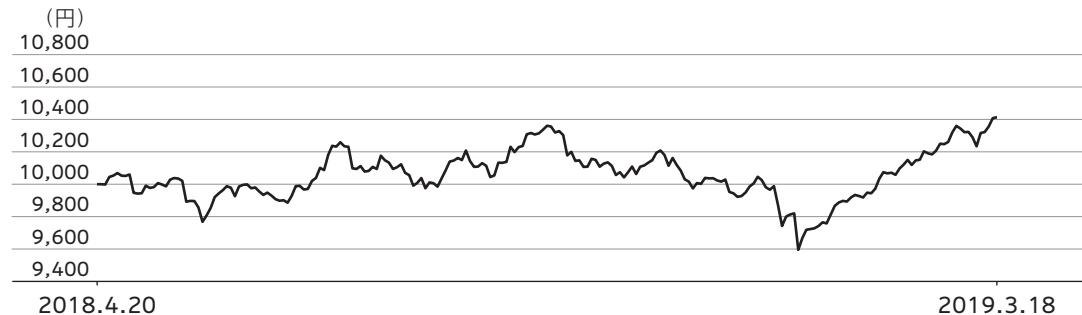
※ 当期中における追加設定元本額は1,251,134円、同解約元本額は2,385円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

リアル・アセット債券マザーファンド

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

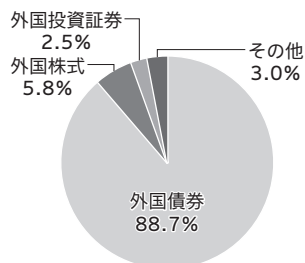
項目	2018.4.20～2019.3.18	
	金額	比率
売買委託手数料	1円	0.012%
(株式)	(1)	(0.007)
(投資信託証券)	(0)	(0.005)
有価証券取引税	0	0.000
(株式)	(0)	(0.000)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
その他費用	5	0.050
(保管費用)	(5)	(0.047)
(その他)	(0)	(0.003)
合計	6	0.062

期中の平均基準価額は10,047円です。

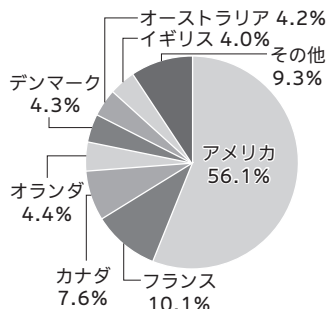
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 ELEC DE FRAN 6.0 260129	社債券	イギリス・ポンド	フランス	2.9%
2 ORSTED A/S 6.25 230626	社債券	ユーロ	デンマーク	2.7%
3 TRANSCANADA 5.875 260815	社債券	アメリカ・ドル	カナダ	2.6%
4 BHP BIL FIN 5.625 241022	社債券	ユーロ	オーストラリア	2.5%
5 AMERICA MOV 6.375 230906	社債券	ユーロ	メキシコ	2.5%
6 NGG FINANCE 5.625 250618	社債券	イギリス・ポンド	イギリス	2.5%
7 VERIZON COM 1.375 281102	社債券	ユーロ	アメリカ	2.4%
8 TOTAL SA 3.369 261006	社債券	ユーロ	フランス	2.1%
9 PROLOGIS LP 3.0 260302	社債券	ユーロ	アメリカ	2.1%
10 DIGITAL EUR 2.625 240215	社債券	ユーロ	アメリカ	2.1%
組入銘柄数		81銘柄		

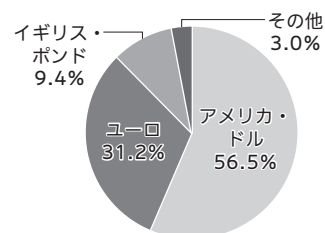
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については5ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2019年3月18日)現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ NOMURA-BPI国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

リアル・アセット債券ファンド コース

検索

それぞれのコースをご入力下さい。

円ヘッジあり

<https://www.sjnk-am.co.jp/fund/0984/price.html>

円ヘッジなし

<https://www.sjnk-am.co.jp/fund/0985/price.html>

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

休

海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

販

販売用資料

目論見書を補完する内容をご説明しております。交付目論見書と併せてご覧ください。

本報告書作成時点のものを掲載しております。